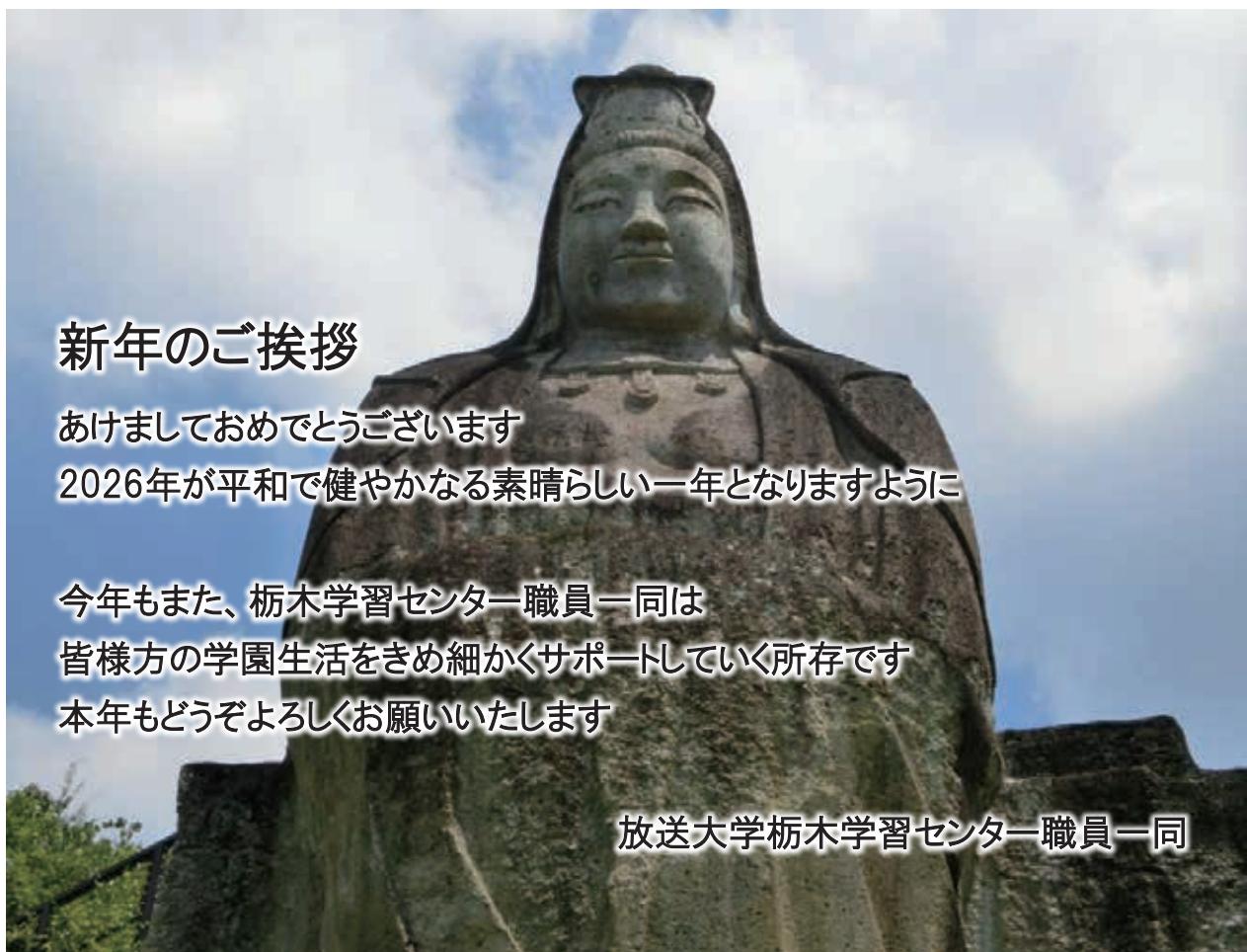




# 放送大学栃木学習センター とちの実

*Tochinomi*

2026  
1  
月  
No. 139



大谷寺 平和観音

## 目 次

巻頭言	.....	p.2	学生研修旅行/所長とランチのご報告	.....	p.10
2025年度第2学期単位認定試験	.....	p.3~4	2025年度第1学期卒業生からの		
次学期の準備	.....	p.5~6	メッセージ/新任職員挨拶	.....	p.11~p.13
公開講演会のご案内	.....	p.6	お知らせ	.....	p.14
特別ゼミのご案内	.....	p.7~9	キャンパスカレンダー	.....	p.15
図書だより	.....	p.9	学習相談日	.....	p.16

# 巻頭言

## 学ぶとは — 生産加工技術を通して考える



宇都宮大学准教授 佐藤 隆之介

私たちの身の回りにある自動車、スマートフォン、家電、文房具、衣類の部品などは、すべて「生産加工技術」によって作られています。生産加工技術とは材料を削ったり、曲げたり、溶かしたりして設計どおりの形に仕上げるための技術のことです。言いかえれば、人のアイデアを「形」に変えるための知恵と工夫の積み重ねです。この技術を学ぶことは、ただ機械の使い方を覚えることではなく「学ぶとは何か」ということを考えるきっかけにもなります。

まず、学ぶとは「正確に形にする力を身につけること」だと思います。どんなにすばらしい設計やアイデアがあってもそれを正確に形にできなければ意味がありません。例えば、自動車のエンジン部品はミリメートルの千分の一という細かさで作られています。ほんの少しのずれでも性能や安全に影響が出てしまいます。そのためには材料の性質や温度の変化、機械の特性などをよく理解することが大切です。生産加工技術を学ぶことは知識と実際の作業を結びつけて「正確に作る力」を身につけることにつながります。

次に、学ぶとは「問い合わせ、考え続けること」でもあります。加工の現場では「なぜうまく削れないのか」「どうすればもっと速く正確にできるのか」といった課題が常に生まれます。その原因を考え何度も試しながらより良い方法を探していく中で、問題を見つけて解決する力が育ちます。学ぶことは、ただ知識を覚えることではなく、自分で考え、工夫し、答えをつくり出すことなのです。

さらに、学ぶとは「よりよい未来をつくること」でもあります。生産加工技術は環境問題とも深く関わっています。ものを作るとときにはエネルギーを使い、廃棄物や二酸化炭素が出ます。これを減らすために、無駄の少ない加工方法やリサイクルしやすい材料の研究が進められています。例えば、切りくずを再利用したり、電気をあまり使わない方法を考えたりする取り組みです。こうした努力は、学びが社会や地球の未来に役立つことを教えてくれます。

そして、学ぶとは「変化に対応し続けること」でもあります。近年では CNC 加工や 3D プリンタ、AI や IoT など、デジタル技術と生産加工技術が組み合わされるようになってきました。これらを使いこなすためには新しい知識や考え方を学び続ける必要があります。時代の変化に合わせて柔軟に成長していくことが、これからの社会で生きるために大切です。

このように、生産加工技術を学ぶことは単に機械を動かす力を身につけることではありません。それは、自分の手で考えたことを形にし、社会をより良くしていく力を育てることです。私たちが何気なく使っている製品の一つひとつの裏には技術者たちの努力と学びがあります。そのことを知ると人間の工夫や創造力のすばらしさを実感できます。

結局のところ、学ぶとは自分の可能性を広げ、未来を築くために考え続けることです。生産加工技術の学びはその本質を教えてくれます。学びは知識のためではなく、よりよく生きるためにあります。私は、生産加工技術を通して「学ぶとは生き方そのものをつくること」だと強く感じています。

# 2025年度第2学期単位認定試験

実施方法(Web試験・郵送試験)および出題形式(択一式・記述式・併用式)によって試験期間が異なります。  
各科目の試験期間をよく確認してください。

## 通信指導の合否結果

通信指導の合否結果は、1月7日(水)に大学本部より送付される「単位認定試験通知(受験票)」を確認してください。

## 試験期間

実施方法	出題形式	試験期間(郵送試験は提出期間)
Web試験	択一式科目	2026年1月18日(日)9:00～1月26日(月)17:00
	記述式・併用式科目	2026年1月18日(日)9:00～1月22日(木)17:00
郵送試験	すべての出題形式	2026年1月18日(日)～1月22日(木)《必着》

## 実施方法(Web受験)

- インターネットを通じ「Web単位認定試験システム」にアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- 試験期間中は自宅等からいつでも受験できます。
- 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、再提出不可)
- 出題形式には「択一式」・「記述式」・「併用式(択一式と記述式)」があり、各科目の出題形式は「2025年度第2学期授業科目案内」(p.38～p.147)に掲載しています。

## 郵送試験科目について

- 次の4科目のみ郵送試験を行います。

「行政学講説('24)」(記述式)

「正多面体と素数('21)」(記述式)

「日本美術史の近代とその外部('18)」(記述式) 「量子化学('19)」(併用式)

- 1月上旬ごろに大学本部から送付される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、試験期間内に郵送で答案を提出します。(試験時間の制限なし)

## 試験の結果

2月13日(金)公開予定のシステムWAKABA「教務情報→履修成績照会」、または2月17日(火)に本部から発送予定の「成績通知書」で、試験結果を確認することが出来ます。

※「成績通知書」の到着を待っていると科目登録に間に合わない可能性があるため、システムWAKABAでの確認をおすすめしています。

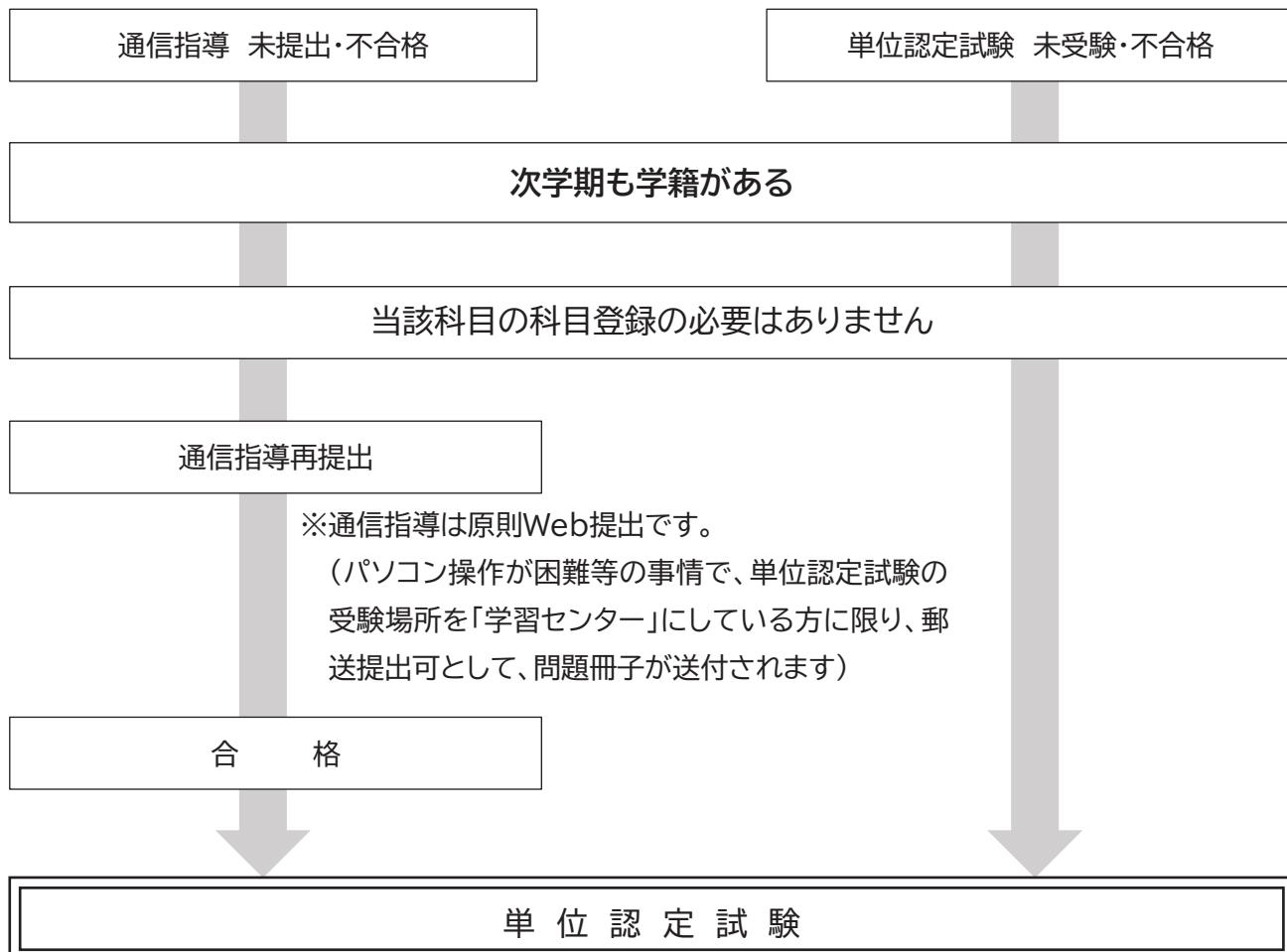
## 再試験について

2025年度第2学期に新規登録した科目のうち単位修得できなかった科目は、2026年度第1学期に学籍がある場合に限り(休学中を除く)、科目登録をしなくても再試験を受験することができます(再試験に係る授業料などはかかりません)。

※2025年度第2学期で在学期間が終了する方は、再試験を受験するには継続入学の手続きが必要です。

※オンライン授業科目は、通信指導および単位認定試験を行わないため、再試験はありません(一部科目を除く)。単位を修得できなかった場合、再度科目登録が必要です。

詳しくは「学生生活の栄」(教養学部p.78~、大学院p.83~)を参照してください。



# 次学期の準備(科目登録・継続入学)

## 次学期も学籍がある方は、「科目登録申請」

(詳細は1月中旬に大学本部から送付される「科目登録申請要項」を参照)

### ●システムWAKABAによる申請 2月13日(金)9:00～2月28日(土)24:00

「教務情報→科目登録申請」から申請してください。

### ●郵送による申請 2月13日(金)～2月27日(金)私書箱必着

「科目登録申請要項」内の「科目登録申請票」に必要事項を記入し、郵送してください。

※次学期に再試験となる科目(p.4参照)は、登録の必要はありません。(自動的に登録されます)。

※教養学部生で面接授業を登録したい方は、併せて申請を行ってください。

※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等の関係資料が到着しない、あるいは紛失した場合は、大学本部学生サポートセンター(TEL:043-276-5111)にご連絡ください。

今学期で卒業もしくは在学期間満了で学籍が切れ、  
引き続き在籍を希望する方は「継続入学」

## 出願方法・出願期間

### ●システムWAKABAによる申請 【第1回】11月26日(水)9:00～2月27日(金)24:00 【第2回】2月28日(土)0:00～3月16日(月)17:00

「教務情報→継続入学申請」から申請してください。

### ●郵送による出願 【第1回】11月26日(水)～2月27日(金)私書箱必着 【第2回】2月28日(土)～3月16日(月)私書箱必着

資料請求または学習センターに来所し「学生募集要項」を入手して、同封の「出願票」に必要事項を記入し、郵送してください。

## 出願時の科目登録で、面接授業・ライブWeb授業を登録したい方への注意事項

### ●システムWAKABAによる申請のみ 2月13日(金)9:00～2月27日(金)24:00

※必ず、上記期間内にシステムWAKABA内、「教務情報→継続入学申請」から申請してください。  
上記期間外または郵送出願の場合は、面接授業の科目登録はできません。

※面接授業・ライブWeb授業の登録のみでは入学できません。放送授業またはオンライン授業から1科目以上登録が必要です。

## 卒業が見込まれる全科履修生

2月13日(金)公開予定のシステムWAKABA「教務情報→履修成績照会」、または、2月17日(火)に本部から発送予定の「成績通知書」でご自身が卒業となるかご確認のうえ、必要な手続きをしてください。詳しくは「学生生活の栄」p.95～をご参照ください。

卒業となる方…再入学を希望する場合は「**継続入学**」

卒業とならなかった方…次学期も学籍がある場合は「**科目登録申請**」

次学期に学籍がなく、引き続き在籍を希望する場合は「**継続入学**」

## 公開講演会のご案内

### ナッジで行動を変えるには

認知心理学や認知科学のテーマの一つに「ナッジ」があります。今回は「ナッジ」と「ルール」の違い(ナッジと強制の違い)について説明し、人間特有のクセ(不合理な行動)を概観した上で、身近な事例などから実際の活用法をお話しいただきます。また、生活の中で変えたい行動などを課題に、ナッジを活用した解決策を紹介します。



【講師】菊地 学 先生

岩手県立大学 社会福祉学部 准教授  
専門は認知心理学(意思決定心理学)と臨床心理学

【日 時】2026年1月25日(日)14:00～16:00 【定 員】100名(先着順)

【会 場】放送大学栃木学習センター2階大講義室 【参 加 費】無料

【参加方法】会場参加

【申込方法】QRコードから申し込みフォームに入り、  
必要事項を入力のうえ、送信してください。



QRコードからのお申し込みが不安な方は、栃木学習センターまでお電話ください。

# 特別ゼミのご案内

【対象者】栃木學習センターに所属する学生(学生種は不問。ただし休学者は除く。)

【注意事項】全ゼミ先着順です。正規の単位としては認められません。

受講料は無料ですが、材料費など実費がかかる場合があります。

【申込方法】栃木學習センター事務室窓口・電話・FAXのいずれかの方法でお申し込みください。

FAXの場合は氏名・学生番号・希望のゼミ名・ご連絡先を明記してください。

【申込期間】1月14日(水)10:00～各ゼミ開講1週間前まで



## ① 家族関係を通して自分を考える

講師:下郷 大輔(しもごう だいすけ) [専門分野／犯罪心理学、家族心理学]

ジェノグラム(家系図)を使って自分について省みることを目的とした授業です。(内容は昨年度と同様です。)

ジェノグラムの書き方、読み方について授業を行い、ゼミの後半では、自分の家系図からご自身を客観視することを体験してもらいたいと考えております。

日 時	2月8日(日)13:30～16:30 2月15日(日) 13:30～16:30 ※原則、両日参加	定 員	10名
会 場	演習室Ⅱ	持 ち 物	筆記用具

## ②パソコンでマイ・プログラムを走らせる

講師:横田 隆史(よこた たかし) [専門分野／計算機工学]

今どきのパソコンには標準で Web ブラウザが付いてきています。ブラウザには JavaScript というプログラミング言語によるプログラムを実行できる仕掛けが内蔵されており、我々は気づかぬうちにこの機能を利用しています。

本特別ゼミでは、Web ブラウザでプログラムを実行する仕組みを説明したのち、各自で持参したパソコンで実際にプログラムを動かしてもらう予定です。動かすプログラムは講師が事前に準備しますので、プログラミング経験の有無は問いません。

日 時	2月14日(土)13:30～16:30	定 員	20名
会 場	演習室Ⅰ	持 ち 物	パソコン(Windowsを推奨)

次ページ以降に、③～⑤が続きます。

### ③体力について考える

講師:加藤 謙一(かとう けんいち) [専門分野／体育学、発育発達]

体力を向上・維持させることは、就学前の子どもから大人まで共通の大切な問題であるにも関わらず、社会環境が大きく変化していることによって、必ずしも向上していません。その背景には、身近な生活は機械化されたり、自動化され、強い体力がなくても不便ではなくなっており、体力を高める必要はないという、見方があります。本ゼミでは、各年代に応じた体力つくりの在り方について考えます。

日 時	2月14日(土)9:00~12:00 2月28日(土)9:30~12:30	定 員	10名
会 場	演習室Ⅱ	持 ち 物	筆記用具



### ④歴史史料を紐解く

講師:丸茂 博(まるも ひろし) [専門分野／日本近代史]

江戸時代までの天皇は限られた者しか目にすることのできない存在でしたが、明治以降は姿の見える天皇として民衆の前に登場するようになりました。特に、明治天皇は、明治5(1872)年5月からの「六大巡幸」において北海道から鹿児島に至る全国を巡幸し、各地の様々な人たちに迎えられました。この栃木県にも、明治9年と14年の二度の巡幸がありました。この時、栃木県の人々は、初めて目にする天皇及び巡幸の一行をどのような眼差しで見ていたのでしょうか。巡幸の模様を記事にした当時の新聞や、県と太政官との往復文書、個人宅に残された記録等をもとに、巡幸を迎えた人々や県・政府の対応、さらに巡幸の目的や意義などについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。史料を解読する時間もとりますが、読めなくても大丈夫です。興味のある方はご参加ください。

日 時	2月28日(土)13:30~16:30	定 員	10名
会 場	演習室Ⅰ	持 ち 物	筆記用具



## ⑤日本語を世界の諸言語と比較する

講師:佐々木 一隆(ささき かずたか) [専門分野／英語学、言語学]

日本語を世界の諸言語と比較した場合、日本語の音声、文字と語彙、文法の特徴とは何でしょうか。日本語は特殊な言語なのでしょうか。日本語を母語としない日本語学習者から同様の質問を受けた時には、どう説明しますか。本ゼミでは、これらの問い合わせについて、実例や文献を参考しながら意見交換を行います。特に言語の多様性と普遍性、言語類型論に基づく比較の視点から、日本語の特質とは何かを探ります。外国人にとっての日本語習得の壁についても考えます。

日 時	3月7日(土)13:30~16:30	定 員	10名
会 場	演習室Ⅱ	持 ち 物	日本語と英語の辞書 (冊子体と電子版のどちらでも可)



## 図書だより

### 「学生図書リクエスト」受け付け終了

12月21日(日)で、2025年度学生図書リクエストの受け付けは終了となります。  
来年度も皆様からのリクエストをお待ちしております。

### 図書視聴覚室 閉室日のお知らせ

3月21日(土)は新学期教材配架作業のため終日閉室となりますので、ご了承ください。



## 学生研修旅行のご報告

9月6日(土)に、2025年度学生研修旅行(北茨城方面)を開催しました。

22名が参加し、午前中は「茨城県天心記念五浦美術館」ならびに「北茨城市歴史民俗資料館・野口雨情記念館」を見学。午後は「原子力科学館」を訪れました。

茨城県天心記念五浦美術館では常設展を見学後に、徒歩15分程の距離にある六角堂に足をのばす学生も多く見られました。その後訪れた北茨城市歴史民族資料館・野口雨情記念館は、童謡作家・野口雨情の生涯をたどる展示を通じて、歌詞に込められた深い想いを感じ取ることができました。原子力科学館では、放射線や原子力について学び、未来のエネルギーと暮らしのかかわり方を考え、また別館展示ではガイドによる原子力事故に備えた防災対策等の話から、原子力と安全について理解を深めることができました。

昼食会場やバス車内でも、学生同士が学習の悩みを相談し合ったり、談笑する姿も見られ、学生・職員の交流を深めるとても良い機会となりました。

次回の学生研修旅行も日程が決まり次第「とちの実」や栃木学習センターウェブサイトでお知らせします。皆さんお気軽にご参加ください。



## 所長とランチのご報告



10月26日(日)、加藤所長と学生有志でランチ会(学生サークル「友の会」主催)を開催しました。面接授業の昼食時間に20名を超える皆さんのが参加。所長の自己紹介や学習センターの取り組み、参加者の入学の動機、勉強方法、学習センターへの要望などが話され、明るく広い空間の中、所長を囲みながら全員で話題を共有することができました。

学生同士が直接接する機会が少ない放送大学ですが、栃木学習センターではこのような会が定期的に開かれています。

次回の所長とランチも日程が決まり次第、  
「とちの実」や栃木学習センターウェブサイトでお知らせします。  
皆さんお気軽にご参加ください。





## 2025年度第1学期卒業生から アドバイスやメッセージをお寄せいただきました

### 卒業生代表挨拶

立花 千枝子 ～人間と文化コース卒業～



本日は、私たち卒業生のために「学位記授与式」を設けてくださいありがとうございました。卒業生を代表いたしまして心より感謝申しあげます。

最初に私事で恐縮でございますが、昨年12月に20年以上も難病と闘い続けてきた兄が亡くなりました。元気なスポーツマンだった兄が、最後は話すことも動くことも困難になってしまった過酷さを考えますと、遠方とはいえ、思うように見舞いに行ってあげられなかつことへの後悔に辛さも加わって、放送大学の勉強を止めてしまいました。このまま、もう終わりしようかという弱い気持ちになりかけておりましたが、それでも、何とか再開しようと考えているうちに、あと1教科科目を追加して全部合格すれば卒業要件が満たされることに気が付きました。そこで、もう一度オンライン授業の授業料を払いなおして同じ科目を再受講し、放送授業は再試験を受けることにし、新規の科目も追加して再開いたしました。卒業という、目の前の目標に向かったことで放送大学の勉強に戻ることができました。

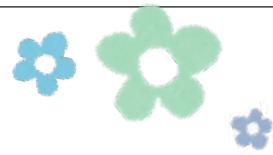
放送大学は突き進むだけではなく、私のように立ち止まってしまった者へも門戸を開いてくださっています。そして、オンライン授業やWeb受験は、こういう時、外出せずに家のなかで自分のペースで出来るのでとても助かりました。また、追加したのは新設科目だったのですが、一度中断してしまった勉強にむかう心と体を復帰させることはなかなか困難でしたので、放送授業の視聴のほかに教科書を1単元から15単元まで音読で通読して、次は15単元から1単元までを後ろから音読し、また1単元から15単元まで音読するという方法を繰り返しました。いわば学習再開のリハビリテーションでした。家族はさぞかしうるさかっただろうと思います。温かい協力に感謝しております。

「人間と文化コース」で学んだのですが、特に印象に残った科目は、オンライン授業の「全体主義と新自由主義のあいだ」でした。全15回1コマごとのレポート提出と最終レポート提出があり、これには計画表を作成して取り組みました。そして先生からの1コマごとの採点と丁寧なフィードバックがありました。手厳しいご指摘もあり自分の見識不足を痛感しました。また、交流フォーラムも盛んで、授業が終了してからも投稿が続き、全国のご学友の方々の考え方にも触れる機会ともなりました。もう一つは、私にとってリハビリテーションとなった「数学の歴史」でした。遙か昔紀元前6世紀頃にはすでに人々が真理を探求していて科学知が生まれたこと、それが現代につながっていることを知り、力になりました。まさに私にとってリハビリテーションにピッタリの科目となりました。

このような学習ができる機会を一度は手放そうとしてしまったのですが、放送大学にはたくさんの科目があり、学ぶべきことが尽きないことに気が付きました。世界の中には、女性が勉強したいと行動しただけで銃撃されてしまった状況もあります。学ぶことは、生きることに不可欠なもので、人としての権利もあります。放送大学は、このように、学ぶことができる喜びや希望を提供して維持してくださっています。放送大学と先生方や職員の皆様方に感謝いたしますと共に、放送大学で学ぶことができたことに誇りをもっていきたいと思います。

## 「人新世」に生きる我々

柏谷 忠良 ～人間と文化コース卒業～



コロナ禍が始まった2020年に念願の学卒に向け入学、家業の都合で行きたかった大学進学を断念していたのですがコロナ禍の今だと決意し入学しました。当初は放送・オンライン授業がメインでした。コロナ禍が収まってきた頃から面接授業が始まり宇大・茨大で受講させて頂きました。

講義の中で特にグローバル化が進展した今日の世界・「人新世」時代と文化人類学に関心を持ち、自然と人間・自文化と他文化・人間と非人間・戦争と平和等などの二元論を地球規模で考察させて頂きました。それから地球環境に於いては産業革命以前と以降に色々な角度から我々の取組をどう考えて行かなければならぬのかも考えさせられました。地球の普遍性と多様性を学び、未来を変えていく事ができるかと思います。共に取り組んでいきましょう。

在籍中はサークル・ゼミ等にも参加してみたかったですが仕事の都合上できず残念でした。余裕のある方はぜひサークル・ゼミ等に参加してみて下さい。多くの教授・学友に接する事もできるかと思います。

在籍中は多くの方々にお世話になり有難う御座いました。感謝申し上げます。

## 放送大学を続けてしまう罠

上月 守 ～心理と教育コース卒業～



気が付くと今回で教養学部卒業が3回目となっていました。もう生活スタイルの一部になっている感覚です。半年サイクルの繰り返しが続く。お金と相談しながら授業科目決めて申込み、ビデオの録画セット、中間レポート調べてWeb報告、期末試験に向けて過去問題の整理と教科書チェック、そして緊張の50分カウントダウンWeb試験、終われば結果を首を長くして待つ。もう何回繰り返したか忘却しました。しかし、いつも新鮮なのは面接授業ですね。今回心理と教育コースだったので、東京文京学習センターに行ったり地元の栃木学習センターに行ったり、心理学実験を中心に受講し、他の学友の皆様と一緒に思い出深い学びを体験しました。またそのレポートは小論文形式だったので大変有意義な授業でした。次の科目案内が届くと無意識に新幹線の切符を買う感覚で申込んでいました。間違いなく私は「放送大学教」の信者ですね。

笹井 香織 ～生活と福祉コース卒業～

私が入学した動機は大卒の資格が欲しいという単純なきっかけです。入学前はたくさん不安がありました。迷い続け20年以上、思い切って入学し無事に卒業できました。

「学び直し」という言葉がありますが、仕事関連やもう一度知識を深めたいことを中心に科目を選択しました。若い頃とは違い、社会人を経験したからこそ深められる、あるいは高めたい知識がありました。放送大学は通信制ですが、おススメしたいのは面接授業です。どれも楽しく、時間があつという間でした。様々な世代の学生方の姿勢もモチベーションになりました。人見知りが影響し、他の学生方とコミュニケーションを取れなかったのが少し後悔です。仕事との両立は大変でテスト勉強に苦戦することもありましたが、私の場合、過去問を繰り返し、少なくともテキストを2回読めば、なんとか頭に入ってきたような気がします。学び直しは魅力的でした。卒業しても学ぶ姿勢は持ち続けていこうと思います。

## 放送大学で心理学を学ぶことを決意

関 幸子 ～心理と教育コース卒業～



私は放送大学に2023年の4月に心理と教育コースへ3年次編入をしました。

現在64歳。12月には65歳になります。高校卒業後、短大の教育学科に入学し幼稚園と小学校の免許を取り、幼稚園に5年間勤務。その後は音楽教室の講師になり、結婚後は自宅で生徒さんを教えていました。

子育てや親の介護などが終わった2020年。コロナが発生した年に小学校の臨時教員の仕事を行うことになり、その時に教育相談も担当しましたが子どもたちにどう答えてあげたらいいのか?と悩みました。

その2年後に市の女性相談支援員として相談業務を担当し「心理学を学ぼう。」「心理士になりたい。」と思い、放送大学への入学を決意しました。

相談業務の仕事で私は驚きの現実に直面しました。不登校、引きこもり、家庭内不和、離婚、DV、ひとり親家庭、貧困などがすぐ近くでたくさん起こっているのです。今まで私は、みんな悩みがあつても平和に生活している人がほとんどで、そんなことはネットでの世界のことぐらいに考えていました。

もっとちゃんと心理学を勉強していろいろな人の話を傾聴できるようになると決め、まずは認定心理士の資格を取ろうと必要な科目を履修しました。

卒業した今は、自分にできることから始めようと傾聴ボランティアのグループに参加しています。

仕事をしながら勉強をするのはやはり大変でしたが、土、日の休みを使って放送授業を聴きました。放送授業は、どの科目もとてもわかりやすく楽しく勉強することができました。面接授業では受講者の年齢層も幅広く、高齢の方もとても熱心に学習に取り組んでいることに驚き、自分も頑張らなくてはと勇気をもらいました。この年になって若い頃の学生時代の何倍も勉強をしたなと思います。

年齢に関係なく学びたいことを学ぶ放送大学は素晴らしいです。いくつになっても挑戦することができるので、多くの方々にお勧めしたいです。今後は臨床心理士になることを目標にして大学院を目指したいと思っています。

## 新任職員挨拶

10月から勤務させていただくことになりました関山と申します。栃木学習センターでの勤務は2度目になりますので、また栃木学習センター所属の学生の皆様とお会いできることを嬉しく思っております。少しブランクがありますが、これまでの経験を活かしながら、できる限り早くお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

関山(教務担当)



# お知らせ

## 1 2025年10月

### 学習センター・サテライトスペースでのキャッシュレス決済が導入されました

- ・ 窓口にお越しいただくことなく、ご自宅等からお支払いいただけます。
- ・ 郵送でのお手続きの際、現金書留や郵便小為替の購入が不要となります。

#### 対象となる支払い

- ・ 証明書等発行手数料
- ・ 学生証再発行手数料
- ・ 面接授業・ライブ Web 授業(追加登録)授業料
- ・ 文献複写手数料(窓口決済のみ)
- ・ 学研災害保険料 等

#### 利用できるキャッシュレス決済

- ・ クレジットカード(窓口決済、メール決済)
- ・ コード決済(窓口決済、メール決済)
- ・ 電子マネー(窓口決済のみ)
- ・ コンビニ決済(メール決済のみ)



★メール決済 →学習センターからメールでお支払い方法を連絡します。

★窓口決済 →窓口の決済端末でお支払いいただきます。

※お支払いが確定した後の返金やキャンセルはできません。

詳細につきましては、下記 URL をご覧ください。

<https://www.ouj.ac.jp/news/2025/information/9-2.html>

## 2 機関誌「とちの実」の紙媒体での配布の終了について

年4回(4月・7月・10月・1月)発行しております機関誌「とちの実」は、今回号をもって、紙媒体での印刷及び配布を廃止することになりました。

これに伴い、学生のみなさんへ郵送することはなくなりますので、今後は栃木学習センターのウェブサイトで、ご確認いただきますようお願いいいたします。

機関誌「とちの実」の閲覧方法:下記URLから閲覧できます。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/about/magazine.html>

なお、今後も紙媒体の「とちの実」は栃木学習センター内図書室、談話室において1部ずつ配置されておりますので、館内での閲覧が可能です。

# キャンパスカレンダー

■…閉所日 □…面接授業 □…試験  
 ○…特別ゼミ ★…行事

※変更になる場合があります。

## 1月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25 ★
26	27	28	29	30	31	

## 1月の予定

- 10・11日 面接授業「フランス語入門：文章読解」  
 面接授業「伝統染織の感性とその魅力」  
 面接授業「Dr.りえ「合唱のよろこび」」  
 17・18日 大学入学共通テストのため臨時閉所  
 18日 単位認定試験実施期間(記述・併用・郵送)〈～22日〉  
 単位認定試験実施期間(択一)〈～26日〉  
 25日 公開講演会「ナッジで行動を変えるには」

## 2月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

## 2月の予定

- 8・15日 特別ゼミ「家族関係を通して自分を考える」  
 13日 2026年度第1学期科目登録申請期間(郵送)〈～2/27〉  
 2026年度第1学期科目登録申請期間(Web)〈～2/28〉  
 システムWAKABA：学部・大学院成績発表  
 14日 特別ゼミ「パソコンでマイ・プログラムを走らせる」  
 14・28日 特別ゼミ「体力について考える」  
 17日 成績通知書発送  
 25日 宇大個別試験のため臨時閉所  
 28日 特別ゼミ「歴史史料を紐解く」  
 2026年度第1学期出願受付開始(第2回)〈～3/16日〉

## 3月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 ★	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

## 3月の予定

- 7日 特別ゼミ「日本語を世界の諸言語と比較する」  
 12日 宇大個別試験のため臨時閉所  
 14日 修士論文発表会・卒業研究発表会  
 21日 図書・視聴学習室 終日閉室



## 学習相談日(1月～3月)

下表のとおり学習相談日を設けています。ご希望の方は「学習相談申込書」にご記入のうえ、事前に事務室までお申し込みください。

※専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりも広い分野の学習相談に応じることができます。

※先生の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

時間:13:00～17:00

教員名／現職	専門分野	相談日		
艮 香織 宇都宮大学准教授	教育学・保健学	1/11	2/7	3/7
岡澤 慎一 宇都宮大学教授	特別支援教育	1/10	2/21	3/7
佐々木 一隆 宇都宮大学名誉教授	英語学 言語学	1/10	2/7	3/14
佐藤 隆之介 宇都宮大学准教授	機械工学 生産工学・加工学	1/10	2/7	3/7
清水 奈名子 宇都宮大学教授	国際関係論	1/10	2/7	3/7
下郷 大輔 作新学院大学講師	犯罪心理学 家族心理学	1/31	2/14	3/21
二瓶 賢一 宇都宮大学教授	天然物有機化学	1/31	2/21	3/28
横田 隆史 宇都宮大学教授	計算機工学	1/10	2/7	3/7
加藤 謙一 栃木学習センター所長	体育学、発育発達	随時対応		

### 放送大学栃木学習センター

〒321-0943 宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス内)

TEL:028-632-0572 FAX:028-632-0570 E-mail: [tochigi-sc@ouj.ac.jp](mailto:tochigi-sc@ouj.ac.jp)

HP : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/>

【開所時間】 9:00～17:30 (窓口・電話対応は9:00～12:00・13:00～17:30)

【閉 所 日】 月曜・祝日休

